

2011年度受託研究概要報告

医療関連webサービスに関するデザインの改善

研究メンバー

曾和具之 プロダクトデザイン学科准教授

委託者

キー・ポイント株式会社

研究概要

個人健康情報 (Personal Health Record:PHR) は、新しい医療・健康保険制度上においても非常に重要な情報の一つであり、総務省が2010年に発表した、「どこでもMy病院」構想においても、基幹となる情報である。

「どこでもMy病院」構想とは、政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部 (IT戦略本部) が2010年5月に公表した「新たな情報通信技術戦略」における医療分野の計画の一つであり、PHRの一つとされる。

PHRにおいて大切なことは、利用者が自分自身の健康情報に対し、高度な関心と管理権限、また管理に当たる義務を負うことにある。身長・体重・血圧などの一般的な健康情報から、疾病歴や遺伝子情報に至るまで受け持つPHRは、従来のカルテなどと異なり、医療関係者が情報の作成・管理を一手に受け持つのではなく、患者自身にも情報の作成・管理を促す点において、より利用者の幅が広がることを示唆している。

当該研究においては、PHRのうち、遺伝子情報を取り扱うWeb上アプリケーションを作成するにあたり、以下の点に重点を置いて研究を行った。①ランドデザインセオリーの策定、②二モーニック認証および秘密分散技術などを取り入れた、視覚的に分かりやすい個人認証システムを利用者に的確に認知されるためのGUI作成。③上記二項を念頭に置いたPHR管理・運営アプリケーションのグラフィック・ユーザ・インタフェースのデザイン提案。

研究成果

本研究における成果は、次の通りである。①PHRを基軸としたWebアプリケーション制作にあたり、ユーザ・インタフェースなど、利用者にとって使いやすいデザインを施すためのランドデザインを策定した。以下はその細目である：0.概要、1.目的、2.適用範囲、3.用語の定義、4.価値意識の向上、5.安全性および危機管理意識、6.データ作成・管理・運用コンセプト、7.Personal Social Record (個人社会情報) との共有化、8.User Experience Design、9.Personal to Community デザインの定義。②二モーニック認証において実施される視覚的暗証番号入力および秘密分散技術において、ユーザに情報の重要性を認知されるためのグラフィックおよびアニメーションの制作を行った。③遺伝子情報及び、健康診断情報に加え、家系図情報において、グラフィック・ユーザ・インタフェースの制作を行い、ユーザが自分自身の情報管理に対し、高い関心と、高度な管理能力を培うことができるよう、画面構成を行った。